

# 高栄養価牧草を用いた草地改良推進

【令和4年度補正予算額 3,044百万円の内数】

## ＜対策のポイント＞

輸入飼料から国産飼料への転換を図り、飼料自給率の向上と畜産物の安定供給を実現するため、既存のイネ科主体の草地等から**高栄養価なマメ科牧草**主体の草地への転換のための取組を支援します。

## ＜事業目標＞

飼料自給率の向上（25% [平成30年度] →34% [令和12年度まで]）

### ＜事業の内容＞

#### 1. 高栄養価牧草を用いた草地改良への支援

都道府県等の普及指導機関・試験研究機関等と連携し、以下の高栄養価牧草導入の取組を支援します。

- ① 高栄養価牧草に適した草地の診断
- ② 土壌分析に基づく土壌の酸度矯正
- ③ 除草剤の播種前処理等による雑草対策の実施
- ④ コート種子を利用したマメ科主体草地への転換
- ⑤ サイレージ化のための添加剤使用

### ＜事業イメージ＞

- 以下の栽培管理技術について、普及指導機関からの指導により取組を実施
- ・適した草地の診断
  - ・土壌の酸度矯正
  - ・雑草対策
  - ・マメ科主体草地への転換
  - ・サイレージ化のための添加剤使用



#### 2. 上記の取組に必要な土壌・堆肥・飼料分析、概況調査、技術普及等の取組を支援します。



○生産性が低下したイネ科主体草地

## ＜事業の流れ＞

国



農業者集団等  
(JA、公社等)

1/2以内

アルファルファの給与により、イネ科牧草に比べ乾物摂取量が増加



濃厚飼料の給与量削減が可能